【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】平成24年2月16日(2012.2.16)

【公表番号】特表2008-538254(P2008-538254A)
【公表日】平成20年10月16日(2008.10.16)
【年通号数】公開・登録公報2008-041
【出願番号】特願2007-557072(P2007-557072)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｌ　21/3065　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｌ　21/302　１０１Ｇ

【誤訳訂正書】
【提出日】平成23年12月21日(2011.12.21)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数のモジュールを有する特定のプラズマクラスタツールを設定するための方法であって、
一般的なプラズマクラスタツールのための一般的な設定定義（configuration definitions）を含む、モジュールオプション定義ファイルのセットを提供することと、
意図される前記設定の為の特定のプラズマクラスタツールを特に識別するデータを含む、ツール特定保護情報のセットを提供することと、
前記特定のプラズマクラスタツールに指定されるオプションを特定する、ツール特定オプション仕様のセットを提供することと、
前記特定のプラズマクラスタツールに課される設定制約（configuration restrictions）をカプセル化し、前記特定のプラズマツールを設定することにおいて必要とされるように構成される、キーファイルを生成すること、
を有する方法。
【請求項２】
前記キーファイルが、前記特定のプラズマクラスタツールだけに設定することを制約する情報を含む請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記情報がホストコンピュータと関連するＭＡＣ（メディアアクセスコントローラ）アドレスを含み、前記ホストコンピュータが生産環境において前記プラズマクラスタツールを制御するように設定される請求項２に記載の方法。
【請求項４】
前記情報はホストコンピュータと関連するインターネットプロトコル（ＩＰ）アドレスを含み、前記ホストコンピュータが生産環境において前記プラズマクラスタツールを制御するように設定される請求項２に記載の方法。
【請求項５】
前記キーファイルが、前記プラズマクラスタツールの許可された使用がいつ期限切れになるのかを指定する情報を含む請求項２に記載の方法。
【請求項６】
前記キーファイルが、前記プラズマクラスタツールの特定のコンポーネントの許可された

使用がいつ期限切れになるのかを指定する情報を含む請求項２に記載の方法。
【請求項７】
前記ツール特定オプション仕様のセットの少なくとも一部がカスタマ注文システムから自動的に抽出される請求項１に記載の方法。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０００９
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０００９】
本発明は、一実施形態で、複数のモジュールを有する特定のプラズマクラスタツールを設定するための方法に関する。この方法は、モジュールオプション定義ファイルのセットを提供することを含み、モジュールオプション定義ファイルのセットは一般的なプラズマクラスタツールのための一般的な設定定義を含む。方法はツール特定保護情報のセットを提供することをさらに含み、ツール特定保護情報のセットは、設定が意図される特定のプラズマクラスタツールを特に識別するデータを含む。この方法は、ツール特定オプション仕様を提供することをさらに含み、ツール特定オプション仕様は、特定のプラズマクラスタツールのために指定されるオプションを特定する。この方法は、キーファイルを生成することをさらに含み、このキーファイルは特定のプラズマクラスタツールに課される設定制約をカプセル化し、キーファイルが特定プラズマツールを設定することにおいて必要とされるファイルとなるように設定されている。
【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１７
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１７】
説明を容易にするために、用語「コンポーネント」は、クラスタツールの非可分な集合または複数の部分からなる集合を指す。したがって、コンポーネントはガス管線と同程度に簡略であるか、あるいはプロセスモジュール全体と同程度に複雑であってもよい。（プロセスモジュール等の）マルチパートコンポーネントは、同様に他のマルチパートコンポーネントまたはアトミックコンポーネントから形成されてもよい（真空システム、ガスシステム、電源システム等の）他のマルチパートコンポーネントから形成される。
【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００３６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００３６】
説明したように、キーファイル３０８は、設定ソフトウェアの無許可の実行／著作権侵害に対する保護だけではなく、設定オプションに対する制約も実現する。キーファイル３０８は、３つの別々のデータソース、つまりモジュールオプション定義ファイル４０２の集合、ツール特定オプション仕様４０４、及びツールに特定の保護情報４０６から生成される。
【誤訳訂正５】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００３８
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００３８】

ツール特定オプション仕様４０４は、カスタマ注文データベース４０４ａから、または工場指定の入力４０６ｂから生じることがある。ツール特定オプション仕様４０４は、特定のツールの構成要素のために許可される１つまたは複数の設定オプションを指定する。一例に、カスタマは、ターボポンプの最高３つの異なるモデルを設置するオプションを購入できる。したがって、カスタマによって購入される、クラスターツールのためのツールに特定のオプション仕様は３つすべてのターボポンプのための設定オプションを含むことができる。

【誤訳訂正６】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００４２
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００４２】
一実施形態では、セキュリティアプリケーション４２０が、キーファイル３０８を生成するためにモジュールオプション定義ファイル４０２、ツール特定オプション仕様４０４、及びツールに特定の保護情報４０６のセットを処理するために利用される。一実施形態では、セキュリティアプリケーションのネットワーク態様は必ずしも必要とされていないがセキュリティアプリケーション４２０は、グローバルアクセス機能を提供するためにウェブをベースにしている。